



「緑のカーテン」で、おいしく快適な省エネを！

吉川春菜（京都府温暖化防止センター）

なぜ涼しいの？

夏場、エアコンをつければ部屋の中はすぐに涼しくなりますが、その分火力発電所ではどんどん化石燃料が燃やされ、これが地球温暖化を加速させ、さらに地球を熱くしてしまいます。そんな中、エアコンをできるだけ使わずに夏を涼しく快適に過ごす方法として、各地で「緑のカーテン」の取り組みが広がっています。緑のカーテンとは、ゴーヤーやへちま、朝顔などのつる性の植物を育て、ネット一面に這わせることによってできる大きな植物のカーテンのことです。

緑のカーテンはなぜ涼しいのでしょうか。そこには、次の3つの理由があります。一つめは、太陽からの直射日光を防ぐことです。窓から室内に差し込んでくる日射はとても大きな熱を持っていますが、緑のカーテンがきちんと茂っていれば、その熱の8割をカットする事ができるのです。二つめは、放射熱を防ぐことです。実は、部屋のまわりにある壁やテラスも日射を受けると熱くなり、そこから熱（放射熱）を発してしまいます。そのため、体感温度が上がり、とても暑く感じてしまいます。緑のカーテンは、その熱の発生や進入を防いでくれるのです。三つめは、植物が持つ蒸散作用という性質にあります。植物は成長とともにたくさんの水分を吸収し、その大部分を葉から蒸発させます。その時にまわりの熱を奪うので、緑のカーテンはいつもひんやりしてい

ます。このため、それ自体が熱くなってしまうガラスよりも涼しくする効果が大きいのです。

大きな効果を実感

緑のカーテンづくりは保育園・幼稚園にも広がっています。例えば、2006年度には、八幡市立のすべての保育園・幼稚園で緑のカーテンが設置されました。実施した園からは「緑化してある部屋は本当に涼しいので、いつも会議室として利用していました」「子どもたちは素足なので、床が熱くなく涼しいことを敏感に感じとっていました」などの声があがっており、緑のカーテンが大きな効果を発揮したことがわかります。また、緑のカーテンは涼しさだけでなく、見た目のきれいさや果物・野菜などの収穫の楽しみも提供してくれます。

暑い季節に、すぐにエアコンに頼ってしまうのではなく、まずは緑の力で涼しい環境を作り出してみたいはいかがでしょうか。

~~~~~  
※緑のカーテンの育て方や実践例を収録した『みどりのカーテン育成ガイドブック』を、Webサイトからダウンロードできますのでぜひご活用ください（<http://www.kcfca.or.jp>）。インターネット接続環境の無い方は、京都府温暖化防止センター（TEL:075-211-8895・担当：吉川）までご連絡ください。郵便でお送りいたします。



「八幡市内の保育園」

